

市民社会創造ファンド設立5周年記念フォーラム
「第5回 市民活動の助成担当者交流会」

NPOと企業の協働による

市民活動助成プログラムの開発と運営—5年の軌跡

市民セクターの強化に、
企業の資金はどのように生かせるか。

先駆的な6つの事例を通じて、
その多様な可能性について
考えてみませんか？

日 時：2007年8月31日(金) 13:20～17:30
場 所：ファイザー株式会社 オーバルホール
(新宿文化クイントビル18階)
(東京都渋谷区代々木3-22-7 JR新宿駅南口より徒歩7分)

対 象：市民活動助成に関心をおもちのNPO・企業・
行政・財団等の関係者 (定員 100人)

参加費：3,000円 [当日、会場でお支払いいただきます]

主 催：特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

共 催：市民活動の助成担当者交流会・実行委員会

協 力：花王株式会社

株式会社大和証券グループ本社

中央労働金庫

ファイザー株式会社

フィリップ モリス ジャパン株式会社

松下電器産業株式会社 (50音順)

後 援：財団法人助成財団センター

特定非営利活動法人日本NPOセンター

日本経団連1%クラブ (50音順)



[プログラム]

第一部：開会挨拶・基調報告

「市民社会創造ファンド設立の趣旨と5年の軌跡」

◎挨拶・報告：山岡 義典(市民社会創造ファンド 運営委員長)

第二部：事例報告

「企業による6つの市民活動助成プログラムの発想と展開」

◎司会：渡辺 元(立教大学大学院 教授)

◎報告：各企業の社会貢献担当者 + 担当プログラム・オフィサー

1. ファイザープログラム

「心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究助成」

2. 中央ろうきん助成プログラム

「個性が輝く“ひと・まち・くらし”づくり」

3. フィリップ モリス ジャパン 市民活動～住民活動助成

「生きる場としてのコミュニティづくり」

4. 「ダイワSRIファンド」助成プログラム

「“いのち”に取り組むNPOスタッフの育成」

5. Panasonic NPOサポート ファンド

「子どもたちの健やかな育ちを応援するNPOの基盤強化」

6. 花王・コミュニティミュージアム・プログラム

「博物館・美術館等を拠点とした市民活動の応援」

第三部：質疑と事例検証

「助成プログラムの企画開発と運営における方法と課題」

◎司 会：片山 正夫(セゾン文化財団 常務理事)

◎質疑・討論：第二部の事例報告者

◎コメント1：田中 皓(助成財団センター 専務理事)

◎コメント2：長沢 恵美子(日本経団連1%クラブ・コーディネーター)

申込み／問合せ先：

市民社会創造ファンド・記念フォーラム係

TEL. 03-3510-1221 / FAX. 03-3510-1222

お申し込みは下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて8月27日(月)までにお申し込みください。後日、確認の参加通知書をFAXにてお送りします。

市民社会創造ファンドは2007年4月に設立5周年を迎え、9月にはNPO法人化して5周年を迎えます。この間、当ファンドはインターンシップ・プログラムを含めて8つのプログラムの企画開発にかかわり、また実行委員会との協力のもとに4回にわたって「市民活動の助成担当者交流会」を開催してきました。

この機会に、第5回市民活動の助成担当者交流会を設立5周年記念事業として位置づけ、当ファンドがめざしてきたことを確認し、企業との協働によって企画開発し運営してきました6つの市民活動助成プログラムの実績をご紹介しますとともに、それらの方法や内容、あるいはその評価や今後の課題について、具体性のある議論を深めることにしました。

このことを通して、日本社会における市民活動助成の今後の発展の方向や課題を明らかにできればと思っています。NPOへの資金的支援に関心をお持ちの方々、特に企業や助成財団、各地の自治体や市民ファンド、NPO支援組織の関係者のご参加を期待しています。

▲ FAX. 03-3510-1222

参加申込書

市民社会創造ファンド・記念フォーラム係 御中

下記の通り、記念フォーラムに参加を申し込みます。

2007年 月 日

ふりがな お名前	所 属	
	役 職	
連絡先	住 所 〒	
	TEL.	FAX.

※申し込みの際にお送りいただいた情報につきましては、フォーラムへの参加に関連する連絡業務ならびに当日の運營業務の際に使用させていただきます。